

生誕100年記念

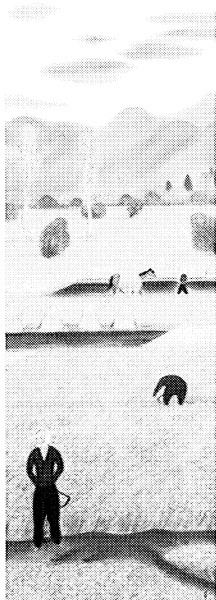
酒井三良の世界

美術館だより

会津三島町出身の酒井三良^{さかいさんりょう}(1898~1969年)は、大正から昭和にかけて院展を舞台に活躍した日本画家です。彼は、のどかな農村の暮らしや自然の姿を、のびやかな線と色彩で俳趣豊かに描き出しました。その軽妙洒脱な作風は、即興的に手早く描かれた小品にこそよく表れています。三良の生誕百年を記念するこの常設展特集では、そのような小品を中心に展示し、彼の生み出した芸術の一面をご紹介します。



「江南春色」 1940年 紙本著色



「田園秋色図」
1920年 絹本著色



「左義長」
1921~23年頃 絹本著色



「沖縄風俗」 1955年 紙本著色

会場 ○ 福島県立美術館企画展示室
休館日 ○ 1月26日(月)、2月2日(月)
観覧料 ○ 常設展の観覧料でご覧いただけます。
一般・大学生 = 260円(210円) / 高校生 = 150円(120円)
小・中学生 = 100円(80円)
※ ()内は20名以上の団体料金